

1-5. 教育学科 学校教育専攻 カリキュラム

(1) 総合教育科目

区分	1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	備考
総合教育科目	文章表現	2	文章表現Ⅱ&	4	文章表現Ⅲ&	4			12科目 28単位 必修
	人権教育♪▼#	2							
	健康・スポーツ*	2							
	レクリエーションワーク ^{注4} ※	2							
	レクリエーション理論 ^{注4}	2							
	情報処理演習Ⅰ*	4	情報処理演習Ⅱ◇♪	4	情報処理演習Ⅲ◇	4			
	アメリカの文化と言語Ⅰ*	2							
	アメリカの文化と言語Ⅱ	2							
	中国の文化と言語Ⅰ	2							
	中国の文化と言語Ⅱ	2							
	韓国の文化と言語Ⅰ	2							
	韓国の文化と言語Ⅱ	2							
	\$ 日本の文化と言語Ⅰ&	2							\$ 「日本の文化と言語Ⅰ」「日本の文化と言語Ⅱ」は、外国人留学生のみ履修可
	\$ 日本の文化と言語Ⅱ&	2							
	法学（憲法）*	2							
	法学概論■	2							
	福祉と教育	2							
	社会学概論■	2							
	心理学概論☆■	2							
	心理学入門☆	2							
	社会福祉入門	2	法学Ⅱ（民法、行政法）■	4					
	政治学（国際政治を含む）■	2	経済学（国際経済を含む）■	2	国際関係論（国際法を含む）■	2			
	哲学%	2							
	倫理学%	2							
	日本史	2							
	世界史	2							
	生物学	2							
	統計学	2							
	表現	2	児童文化論	2					
	音楽▽	2							
	ボランティア論※♪	2							
	ジェンダー論♪	2							
	死生学	2							
	少年と犯罪	2							
	国際社会と日本♪	2							
	多文化理解入門	2							
	多文化コミュニケーション	2							
	ヒューマンライフとサービス	2							
	アジア文化論	2							
	経営学入門	2							
	会計学入門	2							
	生活の中の福祉	2							
	IT パスポート演習Ⅰ ^{注9}	2							
	IT パスポート演習Ⅱ ^{注9}	2							
	教養基礎演習Ⅰ	2							
	教養基礎演習Ⅱ	2	教養基礎演習Ⅲ	4	キャリア開発演習Ⅰ（教養）	4	キャリア開発演習Ⅱ（教養）	4	2-4年次は、教養基礎演習Ⅰ・教員基礎演習Ⅰ・キャリア開発演習Ⅰ（教養）か教員開発演習Ⅰのどちらかを科目を選択必修 4科目14単位 修得
	教員基礎演習Ⅰ▽○□◎◇●■	2	教員基礎演習Ⅱ▽○□◎◇●■	4	教員開発演習Ⅰ▽○□◎◇●■	4	教員開発演習Ⅱ▽○□◎◇●■	4	
	養護教諭基礎演習Ⅰ○		4	養護教諭開発演習Ⅰ○		4	養護教諭開発演習Ⅱ○		2

注1) 単位数を□で囲まれた科目は、指定された年次に履修すること。

注2) 情報処理演習Ⅲは、情報処理演習Ⅱ履修者のみ受講可能。文章表現Ⅲは、文章表現Ⅱを履修した後に履修すること。

注3) ゴシック体で記載された科目は、必修科目。

注4) レクリエーションワーク、レクリエーション理論は、小学校教諭課程履修者で、2種類以上の免許状を取得する場合は、選択科目となり、必修科目が4単位減となる。ただし、レクリエーション・インストラクター資格の取得を希望する場合は、必修科目となる。

注5) *（教職課程共通 *必修 *選択）、▽（小学校教諭 ▽必修 ▼選択）、○（養護教諭 ○必修 ◎選択）、□（英語科教諭）、◎（保健科教諭 ◎必修 #選択）、◇（情報科教諭）、☆（認定心理士資格）、◆（社会教育主事資格 ◆必修 ※選択）の印が付けられた科目は、資格・免許状取得に関する科目。詳細については、「Ⅶ 資格取得の方法」を参照すること。

注6) 幼稚園教諭（△必修 ▲選択）、特別支援学校教諭（●）、高等学校公民科教諭（■必修 %選択必修 ♪選択）については、資格課程科目等を履修することによって取得可能。詳細については、「Ⅶ 資格取得の方法」を参照すること。

注7) 「心理統計法」を受講する場合は、「統計学」を事前に受講することが望ましい。

注8) & 外国人留学生は履修することが望ましい。

注9) IT パスポート演習Ⅰ・Ⅱは、小学校教諭と高校教諭（情報）の両方を履修する者（ICT コース）は必ず履修すること。

(2) 専門教育科目

区分	1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	備考
専門教育科目	教育（初等）	教師論▽ 教育課程論▽ 教育学概論▽	2 教育方法論（ICT活用含む）▽ 2 教育法規▽ 2 教育心理学▽☆ 児童生徒指導論（進路指導を含む）▽ 特別活動の指導法▽ 特別ニーズ教育論▽※ 総合的な学習の時間の指導法▽	2 教育相談（カウンセリングを含む）▽☆ 2 道徳の指導法▽ 2 2 2 2 2	2 2				8科目 16単位 必修 教員免許を取得しない場合は選択 小学校教諭 教育（初等）から 12科目24単位修得
	教育（中等）	教師論○□◇◆■ 教育課程論○□◇◆■ 教育学概論○□◇◆■	2 教育方法論（ICT活用含む）○□◇◆■ 2 教育法規○□◇◆■ 2 教育心理学○□◇◆■☆ 児童生徒指導論（進路指導を含む）○□◇◆■ 特別活動の指導法○□◇◆■ 特別ニーズ教育論○□◇◆■※ 総合的な学習の時間の指導法○□◇◆■	2 教育相談（カウンセリングを含む）○□◇◆■☆ 2 道徳の指導法○* * 2 2 2 2 2	2 2				高校教諭 教育（中等）から 11科目22単位修得 中学校教諭・ 養護教諭 教育（中等）から 12科目24単位修得
	教育（共通）		学校経営 ** 生涯学習概論◆**	2 4					
	教育分野（小学校）	図画工作Ⅰ▽	2 国語（書写を含む）▽ 算数▽ 音楽Ⅱ▽ 図画工作Ⅱ▽ 体育▽ 外国語▽ 国語科指導法（書写を含む）▽ 算数科指導法▽ 音楽科指導法▽ 図画工作科指導法▽ 体育科指導法▽ 外国語の指導法▽ 外国語活動の指導法▼	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 社会▽ 2 理科▽ 2 生活▽ 2 家庭▽ 2 社会科指導法▽ 2 理科指導法▽ 2 生活科指導法▽ 2 家庭科指導法▽ 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			小学校教諭 21科目 42単位 修得

- 注1) 教育職員免許状を取得しない場合は、教師論、教育課程論、教育学概論、教育方法論（ICT活用含む）、教育法規、教育心理学、児童生徒指導論（進路指導を含む）、教育相談（カウンセリングを含む）の8科目については、すべてが選択科目となる。
- 注2) 道徳の指導法は、中学校教諭免許状（**）、養護教諭免許状、小学校教諭免許状を取得する場合は、必修のこと。
- 注3) 複数の教育職員免許状を取得する場合、同じ科目名でも教育（初等）、教育（中等）、幼稚園教諭のそれぞれの科目の単位を修得しなければならないので注意すること。
- 注4) 小学校教諭と幼稚園教諭の両方の教育職員免許状を取得する場合、図画工作Ⅰ・Ⅱ、音楽、音楽Ⅱ、国語（書写を含む）、算数、体育、生活の8科目16単位は、教育分野（小学校）、幼稚園教諭のそれぞれの科目から単位を修得すること。

区分	1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	備考
専門教育科目	教育分野（英語）	英語基礎演習Ⅰ（文法・読解）□▼	2	英語基礎演習Ⅲ（文法・作文）□	2	英米文学演習□	2		英語科教諭 21科目 46単位 必修
		英語基礎演習Ⅱ（文法・読解）□▼	2	英語講読Ⅳ□	2	英米児童文学演習□	2		
		英語講読Ⅰ□	2	英語講読Ⅴ□▼	2	英語コミュニケーションⅤ□	2		
		英語講読Ⅱ□▼	2	英語講読Ⅵ□	2	英語コミュニケーションⅥ□	2		
		英語講読Ⅲ□	2	英語コミュニケーションⅢ□	2	異文化理解□	2		
		英語コミュニケーションⅠ□▼	2	英語コミュニケーションⅣ□	2	英語科指導法Ⅰ□	4		
		英語コミュニケーションⅡ□▼	2			英語科指導法Ⅱ□	4		
						英語学演習Ⅰ（統語論）□	2		
						英語学演習Ⅱ（意味論）	2		
						英語学Ⅰ（英語の歴史）	2		
	教育分野（情報）			英語学Ⅱ（英語の発音と音声）▼	2	英語学Ⅲ（英語の談話）	2		情報科教諭 14科目 28単位 必修
				英米文学と映像	2	英文学（作家・作品論）	2		
				英米児童文学（作品論）▼	2	米文学（作家・作品論）	2		
		社会情報学◇	2	コンピュータネットワークⅠ◇	2	データベース演習Ⅰ◇	2		
		コンピュータサイエンスⅠ◇	2	コンピュータネットワークⅡ◇	2	データベース演習Ⅱ◇	2		
		コンピュータサイエンスⅡ◇	2	マルチメディア表現Ⅰ◇	2	システム設計◇	2		
	教育分野（情報）	情報と職業◇	2			システム設計演習◇	2		情報科教諭 14科目 28単位 必修
						情報セキュリティ◇	2		
						情報科指導法Ⅰ◇	2		
						情報科指導法Ⅱ◇	2		
				マルチメディア表現Ⅱ	2	ヒューマンメディア	2		
				メディア社会論	2	マルチメディアと学習環境	2		
				情報倫理	2				

注1) 小学校教諭課程履修者は、教育分野（英語）の中から▼印の付された8科目16単位を履修することが望ましい。

注2) 英語科教諭、情報科教諭課程履修者は、各免許課程の必修科目以外に、各分野に開講されている選択科目を履修することが望ましい。詳細については、「Ⅶ 資格取得の方法 4. 教育職員免許状の取得について」を参照すること。

区分	1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	備考
専門教育科目	養護・保健		衛生学〇◎	2	公衆衛生〇◎	2			養護教諭 〇印 11科目 24単位 修得 保健科教諭 ◎印 12科目 30単位 修得
			学校保健学（学校安全を含む）〇◎	2	栄養学（食品学含む）〇◎	2			
			養護教育学〇	2	健康相談活動の理論と方法 〇	2			
			精神保健学〇◎	2	看護学（救急処置を含む）〇◎	4			
			病原微生物学〇◎	2	地域看護学〇	2			
			解剖生理学Ⅰ〇◎	2					
			解剖生理学Ⅱ◎◎	2					
			保健科指導法Ⅰ◎	4					
			保健科指導法Ⅱ◎	4					
			医学概論（小児保健を含む）◎◎	2					
			免疫学概論◎	2	児童環境保健論◎#	2			
			薬理学概説（薬物乱用防止を含む）◎	2	子どもの食と栄養◎#	2			
			精神疾患とその治療◎#	4					
専門教育科目	心理・発達	心理統計法☆	2	発達心理学☆*	2	臨床心理学☆〇▼♪	2		認定心理師 ☆印 32単位 必修
			社会心理学☆♪	2	カウンセリング演習☆▼#	4			
			心理学基礎実験☆	4	家族心理学☆	2			
					心理学研究法☆◎	4			
					心理検査法☆◎	4			
					心理療法概説☆◎	2			
					認知心理学☆	2			
					障害児・者の心理☆◎♪	2			
					発達相談*	2			
専門教育科目	演習・実習						専門演習	2	1科目 2単位 必修
							教職実践演習（中・高）□◇◆■	2	
		教育実習指導（初等）▽	1	教育実習（初等）Ⅰ▽	2	教職実践演習（養護）〇	2		
				教育実習（初等）Ⅱ▽	2	教職実践演習（小学校）▽	2		
				教育実習指導（中等）□◇◆■	1	教育実習（中等）Ⅰ□◇◆■	2		
						教育実習（中等）Ⅱ□	2		
		教育実習指導（中等）「保健」◎	1	教育実習（中等）Ⅰ「保健」◎	2				
				教育実習（中等）Ⅱ「保健」◎	2				
				養護実習指導〇	1	養護実習〇	4		
				看護臨床実習指導〇	2	看護臨床実習〇	2		

- 注1) 実習科目については、各教育職員免許状に指定された教育実習科目を履修すること。詳細については、「Ⅶ. 資格取得の方法 4. 教育職員免許状の取得について」を参照すること。
- 注2) 「心理統計法」を受講するには、事前に「統計学」を履修していることが望ましい。
- 注3) 中学校教諭一種免許状・高等学校教諭一種免許状「保健」を取得する場合は、教育実習指導（中等）「保健」を2年次に履修し、教育実習（中等）Ⅰ「保健」及び教育実習Ⅱ「保健」は、3年次に履修すること。
- 注4) 中学校教諭一種免許状・高等学校教諭一種免許状「英語」、高等学校教諭一種免許状「情報」の免許状を取得する場合は、教育実習指導（中等）を3年次に履修し、教育実習（中等）Ⅰ及び教育実習（中等）Ⅱは、4年次に履修すること。
- 注5) 小学校教諭免許と中学校教諭一種免許状・高等学校教諭一種免許状「英語」を併せて取得する場合は、「教育実習（初等）Ⅰ」「教育実習（初等）Ⅱ」と「教育実習（中等）Ⅰ」を履修すること。
- 注6) 教職実践演習には「中・高」「養護教諭」「小学校」「幼稚園」があるので、複数の免許を希望する場合はそれぞれの教職実践演習を履修すること。
- 注7) 保健科教諭を取得する場合は、#または*（一部除く）の中から、高等学校教諭は2単位以上を履修すること。
- 注8) 「教育実習（中等）」について、中学校教諭一種免許状を取得する場合は「教育実習（中等）Ⅰ」と「教育実習（中等）Ⅱ」の両方を履修すること。高等学校教諭一種免許状のみを取得する場合は「教育実習（中等）Ⅰ」のみを履修すること。

(3) 資格課程科目

区分		1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	備考	
保育児童学科科目	幼稚園教諭	教育学概論△	2	教育方法論（ICT 活用含む）△	2	教育相談（カウンセリングを含む）△	2	教職実践演習（幼稚園）△	2	26科目 51単位 修得	
				教育法規△	2						
				教育心理学△	2						
				特別ニーズ教育論△※	2						
		保育者論△	2	幼児理解△	2	保育カリキュラム論△	2	保育内容総論Ⅱ△	2		
		保育内容（表現）△	2	保育内容総論△	2	保育内容（人間関係）△	2				
				保育内容（言葉）△	2	保育内容（環境）△	2				
				保育内容（健康）△	2	教育実習指導（初等）Ⅰ△	1	教育実習（初等）Ⅱ△	2		
						教育実習（初等）Ⅰ△	2				
		子どもと音楽△	2	子どもと人間関係△	2						
		子どもと言葉△	2	子どもと環境△	2						
				子どもと健康△	2						
				子どもと造形△	2						
		社会福祉学科科目	特別支援学校教諭	障害児教育論●	2	病弱者の心理・生理・病理●	2	特別支援教育実習●	2		15科目 29単位 修得 （●印全て）
				知的障害者の心理・生理・病理●	2	視覚障害者、聴覚障害者の心理・生理・病理●	2				
肢体不自由者の心理・生理・病理●	2			知的障害教育Ⅰ●	2						
肢体不自由教育Ⅰ●	2			知的障害教育Ⅱ●	2						
				肢体不自由教育Ⅱ●	2						
				病弱教育Ⅰ●	2						
				病弱教育Ⅱ●	2						
				障害児教育課程論●	2						
				重複障害・LD 等教育総論●	2						
				特別支援教育実習指導●	1						
	肢体不自由教育総論		2	知的障害教育総論	2						
			病弱教育総論	2							
			聴覚障害者の言語障害指導	2							
公民科教諭	社会保障論■		4	公民科指導法Ⅰ■	2	3科目 8単位 修得					
				公民科指導法Ⅱ■	2						
社会教育主事	生涯学習支援論◆	4	社会教育経営論◆	4	社会教育課題研究◆	2	5科目 12単位 必修				
	児童・家庭福祉論※	2	社会教育演習◆	1	社会教育実習◆	1					
	地域福祉論※	4	高齢者支援展開論※	2							

- 注1) 教育職員免許状の取得に必要な科目については、「Ⅶ. 資格取得の方法 4. 教育職員免許状の取得について」を参照すること。
- 注2) 小学校教諭のみ、幼稚園教諭のみ、の一種免許状を取得する場合は、教育実習（初等）Ⅰは各資格の配当年次に実施する。また、幼稚園教諭と小学校教諭の両方の一種免許状を取得する場合は、教育学科開講の教育実習（初等）Ⅰ・Ⅱを小学校で実施し、保育児童学科の教育実習（初等）Ⅰを4年次に幼稚園で実施する。その場合、教育実習指導は、教育学科開講の「教育実習指導（初等）」と保育児童学科開講の「教育実習指導（初等）Ⅰ」を履修する必要がある。
- 注3) 複数の教育職員免許状を取得する場合、同じ科目名でも教育（初等）、教育（中等）、幼稚園教諭のそれぞれの科目の単位を修得しなければならないので注意すること。
- 注4) 小学校教諭と幼稚園教諭の両方の教育職員免許状を取得する場合、図画工作Ⅰ・Ⅱ、音楽、音楽Ⅱ、国語（書写を含む）、算数、体育、生活の8科目16単位は、教育（小学校）、幼稚園教諭のそれぞれの科目から単位を修得すること（図画工作Ⅱ、音楽Ⅱは幼稚園教諭選択科目）。
- 注5) 高等学校教諭一種免許状「公民」を取得する場合は、「哲学」「倫理学」のいずれかを履修の上、♪または※（一部を除く）の中から6単位以上を履修すること。
- 注6) 社会教育主事（基礎資格）を取得する場合は、「Ⅶ. 資格取得の方法」を参照し、※の中から必要科目を選択履修すること。
- 注7) 「(3) 資格課程科目」については、該当する資格課程を登録していない場合は履修不可。

1-6. 資格取得に必要な単位

《教育学科 学校教育専攻》（卒業要件単位：124単位）

教育学科 学校教育専攻	総合教育	専門教育科目					小計	選択科目（総合教育科目含む）		合計
		教育 初等・中等	教育分野	保健 養護	心理 発達	演習 実習		専門教育	資格課程	
卒業要件	必修+選択 42（注1）	必修 16	—	—	—	必修 2	60	選択 64	—	124
小学校教諭コース	44	24	42	—	—	9	119	5 (16)	—	124 (135)
英語科教諭コース	42	24	46	—	—	9	121	3 (16)	—	124 (137)
情報科教諭コース	46	22	28	—	—	7	103	21 (10)	—	124
小学校・英語科 ^{注1)}	40	48	88	—	—	14	190	(16)	—	190 (206)
小学校・情報科 ^{注1)}	44	46	70	—	—	14	174	(26)	—	174 (200)
養護教諭	52	24	—	24	2	13	115	9	—	124
養護・保健科教諭コース	52	24	—	36	2	20	134	—	—	134
養護教諭・小学校教諭 ^{注1)}	50	48	42	24	2	20	186	(16)	—	186 (202)
教育心理（認定心理士）コース	46	4	—	—	32	2	84	40	—	124
認定心理士・養護教諭	56	24	—	24	32	13	149	—	—	149
認定心理士・小学校教諭	48	24	42	—	32	9	155	(16)	—	155 (171)
小学校教諭・幼稚園教諭 ^{注1)}	40	24	42	—	—	9	115	(16)	51	166 (182)
+特別支援学校教諭	—	—	—	—	—	—	—	—	+29	
高等学校教諭（公民）	56	22	—	—	—	7	85	31 ^{注2)}	8	124
社会教育主事（基礎資格） ^{注3)}	42～44	0～2	—	—	—	2	44～48	62～68	12～18	124

（ ）内の数字は、各免許状・資格を取得する場合に、併せて履修することが望ましいとされている選択科目の単位数。

注1) 小学校教諭課程履修者で2種以上の教員免許状を取得し、レクリエーション・インストラクター資格を取得しない場合は、4単位減（レクリエーション理論、レクリエーションワーク）となる。

注2) 「哲学」「倫理学」のいずれかを含む。

注3) 社会教育主事（基礎資格）については、各項目の選択科目の履修状況により、必要単位数が異なる。